

福岡水素エネルギー戦略会議

福岡県は、環境にやさしい水素エネルギー社会の実現に向け、平成16年8月に全国に先駆けて産学官による推進組織「福岡水素エネルギー戦略会議」を設立しました。研究開発、社会実証、人材育成をはじめ水素エネルギーの開発・普及を総合的に展開し、世界を先導する水素拠点の形成を目指しています。

平成20年2月には「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」を掲げ、「水素エネルギー社会の可視化・具現化」を重点として「水素ハイウェイ」の構築や「水素タウン」の整備などの取り組みを展開してきました。

平成22年には、その取り組みが評価され、先進国の閣僚級会合である国際水素燃料電池パートナーシップ(IPHE)から、「優秀リーダーシップ賞」を受賞しました。

平成23年度からは「水素エネルギーの市場創出・産業化」を重点として水素エネルギー産業の育成・集積に向けて、企業の参入支援やFCVの普及と水素ステーションの整備に一体的に取り組んでいます。

○水素エネルギー分野における日本最大の産官学連携組織

福岡水素エネルギー戦略会議

設立：平成16年8月3日

顧問：小川 洋(福岡県知事)

岸本 吉生(九州経済産業局長)

北橋 健治(北九州市長)

高島宗一郎(福岡市長)

久保 千春(国立大学法人九州大学 総長)

岩城 正和(新日鐵住金株式会社 常任顧問)

会長：柳川 欽也(新日鐵住金株式会社 代表取締役副社長)

副会長：西島 弘也(JX日鉱日石エネルギー株式会社 取締役常務執行役員 新エネルギーカンパニー・プレジデント)

舟木 隆(岩谷産業株式会社 常務取締役兼執行役員)

渡邊 浩之(トヨタ自動車株式会社 顧問)

佐々木一成(国立大学法人九州大学 水素エネルギー国際研究センター センター長)

幹事会：会員中核企業などで組織

事務局：福岡県商工部新産業振興課

会員数：平成27年6月1日現在

757 (企業607、大学113、行政・研究・支援機関37)

設立当初 144 (企業63、大学64、行政・研究・支援機関17)

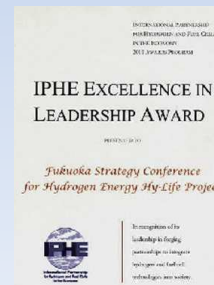


福岡水素エネルギー戦略会議総会

○Hy-Life プロジェクトの全体概要



○国際水素燃料電池パートナーシップ(IPHE) 「優秀リーダーシップ賞」と授賞式の様子 (2010年5月17日、ドイツEssen)



「ふくおかFCVクラブ」

福岡の地に、より多くの方がFCVを導入し活用する先進的な普及拠点を形成し、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に進めるため、地元の経済界や企業、大学、行政等が一体となって「ふくおかFCVクラブ」を設立。

(設立日：平成26年8月19日)

〔組織体制〕

代 表	麻生 泰	九州経済連合会会長
	小川 洋	福岡県知事
副 代 表	貫 正義	福岡県経済同友会代表幹事
	末吉 紀雄	福岡県商工会議所連合会会長
	城戸津紀雄	福岡県商工会連合会会長
	正木計太郎	福岡県中小企業団体中央会会長



ふくおかFCVクラブロゴマーク



セミナー会場

〔会 員〕

FCVの導入や水素ステーションの整備に意欲・関心を持つ福岡県内の企業・大学・行政等(会員数 256機関(H27.6現在))



キックオフイベント



展示風景

FCVの普及促進

○ FCVの率先導入

- ・トヨタMIRAIを県公用車として2台導入
1台目は27年2月12日に九州で初めて納車され、出発式を開催
- ・県内自治体に対する公用車導入への働きかけ
- ・県内企業に対する社用車導入への働きかけ

○ タクシー事業者への導入支援

- ・多くの方が利用しPR効果が大きく、多くの水素需要が見込まれるタクシーの導入について経費の一部を補助
- ・国土交通省「地域交通のグリーン化事業」の提案支援
- ・全国初、5台のFCVタクシーを導入し、27年3月25日 福岡県庁にて出発式を開催。

○ レンタカー事業者への導入支援

- ・レンタカーへのFCV導入について、経費の一部を補助

○ FCVの理解促進

FCV公用車を活用して、県内各地で展示会や試乗会を開催する「ふくおかFCVキャラバン」を開催。多くの方がFCVの素晴らしさを体感。



試乗会風景

○ FCV等に関する情報発信

(<http://www.fcyclub.jp>)

- ・FCVや水素ステーションの最新情報
- ・国や県、市町村が行うFCVに対する支援制度
- ・会員等のFCVの導入状況
- ・県内等の水素ステーションの整備状況



HPによる情報発信



県に導入されたトヨタMIRAI



FCV公用車出発式



FCVタクシー



FCVタクシー出発式

水素ステーションの整備促進

- ・候補地の紹介から、地権者との交渉までの一貫したサポート
- ・国の補助に加え県独自の補助、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の税制優遇措置の活用により、民間事業者による水素ステーションの整備を促進
- ・H26年10月に九州第1号となる水素ステーションが北九州市小倉北区に開所。現在、これを含め県内で10ヶ所の整備が決定。

※整備が決定している水素ステーション

- ・北九州市 2ヶ所
- ・福岡市 5ヶ所
- ・古賀市 1ヶ所
- ・大野城市 1ヶ所
- ・糟屋郡 1ヶ所

- ・福岡県庁に移動式水素ステーションを整備(平成27年度)



イワタニ水素ステーション 小倉



開所式